

# 松 風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001  
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑120  
 ■発行人 安藤伸樹

## トライアスロン競技部座談会

2019年1月16日 17:30より

2018年度のトライアスロン大学日本一を決める「トライアスロン選手権観音寺大会」で男子団体優勝、女子個人優勝という見事な成績をおさめた流通経済大学トライアスロン部に校友会から会長賞と副賞を授与しました。

今年から卒業式での表彰でなく、現役学生と校友会メンバーとで食事会を企画して年齢を超えた会話を楽しみました。

水泳・バイク・ランニングの3種目を休息も入れず通しで競う「鉄人レース」に取り組む選手たちに、元運動部員だった面影も無い校友会メンバーがインタビューをしました。



田山寛豪監督

■出身はどちらですか、トライアスロンという競技との出会いはいつごろ、きっかけは

**岩本（4年）**：鳥取県米子市出身で、小学生の時はバスケットボールをしていました。

その傍ら親からの薦めで始めたトライアスロンの地方大会で、小学6年生の時に好成績を収め、競技を本格的に始めるきっかけとなりました。

**小林（3年）**：宮城県仙台市出身で、3歳からモーグルを始めました。中学1年生の時、父の薦めで出場したトライアスロン県大会で優勝、中学2年生の時全国大会で優勝しました。

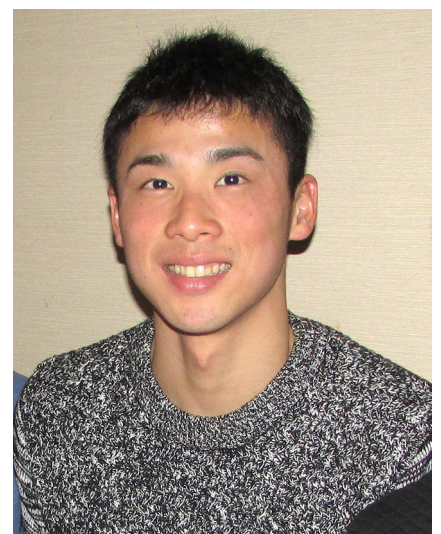
これをきっかけに高校から水泳部でトライアスロンに打込みました。

**杉原（2年）**：滋賀県大津市出身、小

学3年生までサッカーをしていました。小学4年生の時に出場した京都のロードレース大会でトライアスロンチームから誘いを受けたことが、競技を本格的に始めるきっかけでした。

**小原（2年）**：鳥取県米子市出身です。両親がトライアスロンの選手だった影響を受けて、小学1年生からトライアスロン大会に出場していました。中学から陸上部（5千メートル）に所属しながら、トライアスロンを本格的に始めました。

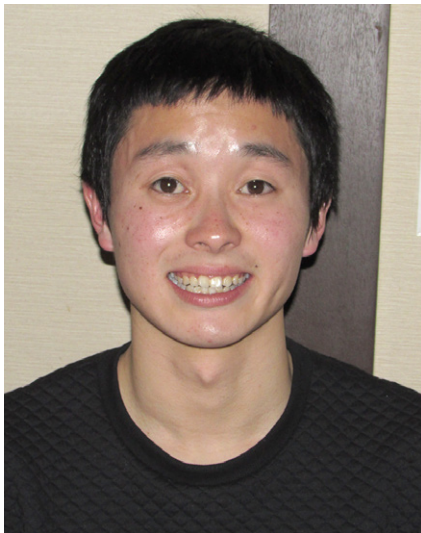
**坂梨（1年）**：大分県中津市出身で、小学校でサッカー、中学校で水泳、高校では陸上（5千メートル）をやっていました。陸上と水泳に魅力を感じ、大学でトライアスロンを志しました。



岩本敏選手

■流经大トライアスロン競技部に入部してどうでしたか（思い出は）

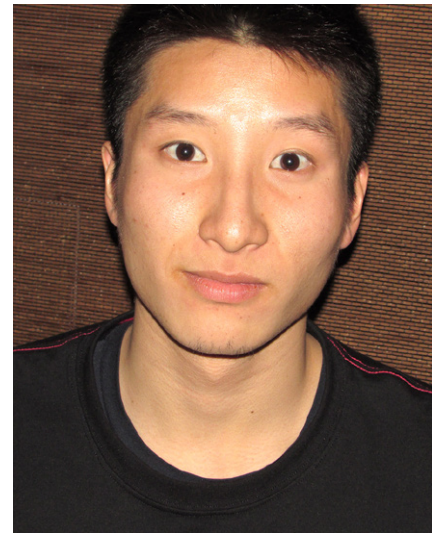
**小林（3年）**：入部前のイメージ通り



小林竜馬選手



小原北斗選手



坂梨朱優選手



杉原有紀選手

でした。また当時は田山監督も現役だったので初日から大変厳しいものでした。でも、どんなに厳しい練習でもトライアスロンを辞めたいと思ったことは一度もありませんでした。

■スвим、バイク、ランニングのどの種目が得意ですか

**岩本（4年）：**3種目とも得意で苦手と思う種目はありません。3種目の達成感がトライアスロンの魅力です。

**小林（3年）：**平均して3種目とも得意です。

**杉原（2年）：**ランニングが得意で、今後はスвимの記録を伸ばす練習に励みたい。

**小原（2年）：**ランニングが得意です。

**坂梨（1年）：**ランニングとスвимが得意です。怪我を早く直して、チームに貢献したいと思います。

■来季の目標は

**小林（3年）：**次期主将として、インカレ連覇を目標にしています。

■卒業される岩本さん、今後の抱負と後輩に望むことは

**岩本（4年）：**4月から実業団チーム（日本食研）で競技を続け、さらなる高みを目指します。後輩には是非インカレ連覇に向けて頑張ってもらいたい。卒業にあたって、自分自身に点数をつけるとしたらまだまだ60点です。

■最後に練習場所・方針

**田山監督：**スвимは学内のプール、バイクとランニングは龍ヶ崎郊外やタツノコフィールド等で練習しています。部員へは頻繁にコミュニケーションを取りながら、練習方法は決して押しつ

けるのではなく、部員一人ひとりが考えて行動できるよう指導しています。そして各部員の今後の選手人生そして選手を辞めた後の人生に役立つことをたくさん吸収してほしいと思います。

他の大学が団体戦には大人数で参戦してくる中、3名だけで果敢に戦い団体優勝する男子、一人だけで挑戦して個人優勝を持ち帰ってきた杉原選手、見事な結果でした。田山監督の厳しいトレーニングメニューをこなしている寡黙な修行僧のような学生かと思いましたが、明るく、良く食べる普通の学生でした。岩本選手は卒業して実業団に行きますが、男子団体4連覇・女子の個人優勝に向けて2019年も活躍をお祈りして集合写真を撮り解散しました。



# 硬式野球部座談会メモ

2019年1月30日 17:30より

流通経済大学硬式野球部は2018年度秋季大会において7シーズンぶり（春・秋2回開催）通算30回目の優勝を飾りました。前回の優勝は今年のドラフトで日通野球部から日本ハムファイターズに指名された生田目投手の時です。その時の1年生だった選手が4年生最後のシーズンで優勝したことになります。

校友会では会長賞と副賞を贈り、この栄誉を称えました。

1月30日夕方から野球部中道監督、石本コーチ、と選手3名、鳥谷部校友会副会長、事務局2名で食事をしながらインタビューをしました。

□秋季リーグ戦を振り返って

**中道監督：**春季リーグは6校中5位という屈辱を味わいました。それから秋季リーグに向かって、基礎練習に時間を費やしました。「流経大は何か動いてくる」と相手チームに思わせるよう、特にバント・機動力を徹底的に鍛えました。

初戦は創価大、1勝2敗でしたが悪い負け方ではありませんでした。そして昨年全日本選手権に出場した共栄大に連勝したことが大きな自信となりました。自己採点しますと90点です。

**石本コーチ：**負けられない状況が続く中、練習・試合に集中できたことが優勝につながりました。

■出身はどちらですか、野球との出会いはいつごろ、きっかけは

**吉村（3年）：**千葉県船橋市出身です。小学3年生の時、友人から誘われて野球を始めました。



中道守監督



石本泰志コーチ

**片山 (3年) :** 徳島県阿南市出身です。兄の影響で小学2年生から野球を始め、4年生からは地元の少年野球チームに所属していました。

**松木 (1年) :** 埼玉県川口市出身で、小学1年生の時に親からの薦めで野球を始めました。

■得意/好きなポジションは

**吉村 (3年) :** 野球を始めた時から捕手をやっていました。高校3年生の時、一時外野を守りましたが、直訴して捕手に戻してもらいました。

**片山 (3年) :** 投手が好き、楽しいです。

**松木 (1年) :** もとは内野手でしたが、高校生から左翼の守備をしています。

■流经大野球部に入部してどうでしたか (思い出は)

**吉村 (3年) :** 入部して間もなく肩を痛めた時と大学2年生のリーグ戦初打席で勝負できなかった (打てなかった) 時が苦い思い出です。今でもその時の悔しさは忘れられません。

**片山 (3年) :** 2年生まで肩を壊して投球できませんでした。その後は内外角の制球を徹底的に磨き、結果が出るようになりました。

**松木 (1年) :** ランニングが苦手でした。その分打撃練習に力を入れ、秋季リーグで4番、本塁打2本を打つことができました。

■来季の目標は

**吉村 (3年) :** 主将としてチームをまとめ、リーグ優勝連覇を目指します。

**片山 (3年) :** 最上級生として投げる



吉村悟央捕手

試合はすべて勝ちたい。

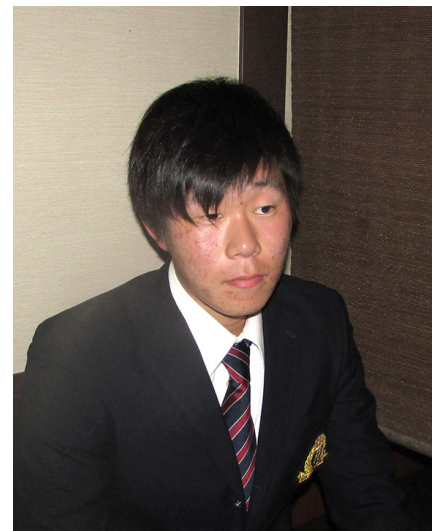
**松木 (1年) :** レギュラーを死守し、打率3割、本塁打10本を目指します。

チャンスに強い打者として打点にもこだわりたい。

吉村悟央捕手は2019年度の主将としてチャンピオンフラッグを守り、片山雅斗投手はエースとして勝ち星を重ね、松木元希外野手は強打者として活躍することを期待します。東京新大学連盟のホームページを開くとリーグ戦の日程が分かります。校友会員の皆さんも是非応援に参加して下さい。



松木元希外野手



片山雅斗投手



# 学生会50年の時間を隔てて

2019年2月8日 於：龍ヶ崎市内

今年が平成最後の年ですが、西暦では2019年です。流通経済大学は1965年創立で最初の1期生が卒業したのは1969年3月です。丁度、50年・半世紀の時が経ったことになります。

今回、1期生として学生会や体育局的の設立に努力された羽田さん、広瀬さんにご出席いただき現役学生会長と50年に時間を隔てて食事をしながら懇談をしました。

## 参加者

- 1期生 羽田昇氏  
(初代学生会渉外局長)
- 1期生 広瀬吉英氏  
(体育局跆拳道部創設者)
- 龍ヶ崎学生会長 大森陽樹  
(流通情報学部流通情報学科2年生)
- 新松戸学生会長 坂本厚志  
(経済学部経済学科2年生)
- 事務局 齊藤哲三郎、小野崎英



## ■1期生に対して

なぜ学生会を立ち上げたか。当時の志、意義は

**廣瀬**：1期生として4月に入学、5月の連休明け頃から学生寮生を中心に各々が勝手にランニングや運動を始めました。当時は全国から現役生、浪人生、社会人など様々な人たちが入学してきました。

**羽田**：私は地元の高校出身で自宅通学でした。学内の掲示板には 洋弓、ラグビー、柔道、空手など体育系や軽音楽、語学など文化系のサークルの勧誘ビラが沢山貼られていました。

その中で、体育系サークルが結集して記憶の限りでは「体育サークル同盟」(後の体育局)を創り、施設の確保・拡充を大学側と交渉する事としました。その後紆余曲折があり、もっと大きな、大学全体で何らかの組織を創ろうという考えが学生会の原点であったと思います。

## ■特に苦労した問題は

**廣瀬**：当時は都心にある大学の多くは学生運動、大学紛争が盛んな時期でした。しかし流経大はそれらとは一線を

画し、毅然とした態度で臨みました。

**羽田**：学生会立ち上げ時には規約等何もない状態でしたが、学生課の職員の方々の協力により他大学の規約を集めて参考にして作成しました。

## ■今の大学に対して思うことは

**廣瀬**：今後も少子化が続く中で、建学の理念である「流通経済に関する研究と人材教育」という特色を更に打ち出

すことが肝心と思います。

学生会に対しては、大学が今後も生き残るために体育局、文化局、学生全体を巻き込んでどうしたいのかを考え、学生会としての足跡を是非残してほしい。

## ■現役学生会長に対して

出身、入学のきっかけは 現在の学生会の役割



1期生 廣瀬氏



1期生 羽田氏



大森陽樹 龍ヶ崎学生会長

**大森：**水戸市出身で高校時代にPCに興味を持ち、オープンキャンパスで流通情報学部のプレゼンに興味を持ちました。

**坂本：**埼玉県草加市出身、社労士を目指しています。

■現在の学生会の役割

**大森：**龍ヶ崎キャンパスでは、6月の学生大会の開催、つくばね祭の実行委員会のサポートを担当しています。学生大会で出た意見は全学協議会に諮られます。

**坂本：**クラブ活動は基本無いため、青春祭を学生会が全面的に運営しています。

新松戸キャンパスは、環境が整っている為、学生からの要求はなかなか上がって来ないのが現状です。

■今後の課題

**大森・坂本：**龍ヶ崎と新松戸学生会の交流を進めたい。

羽田先輩、広瀬先輩からは今でも全てゼロから立ち上げてきた当時のパワーを感じました。1960年代は60年安保からの流れで学生運動が盛んな時代でもあり、そんな時代背景の中で学生同志が話し合いながら自治組織である学生会を組織し、学生大会を開催して意見を出し大学の基礎を造られたのだと思います。

事務局は7期生と13期生ですが、既に安定した単科大学になっており、同期の学生会長も「つくばね祭」の企画や出し物に知恵を絞るような時代を迎えていました。すでに「大学の自治は

大学に有り」のような気持ちは薄くなっていった気がします。

母校も50数年の年輪を重ね、学生会や学生大会を通じて要求する設備や環境についても大学が先回りして準備、改革を進めている様にも見えます。

母校も龍ヶ崎と新松戸の2キャンパスとなり、5学科9学部の中堅総合大学に発展しました。運動部の上下関係やスパルタトレーニングなども過去のものになり、そのような中で学生の大学自治についての考え方も大きく変わりました。

ただ、50年の月日経っても学生会長としてより良い大学を作っていこうとする共通の気持ちを感じる懇談会でした。



宮本 学生部事務部長



小野崎 事務局



坂本厚志 新松戸学生会長



# 流通経済大学校友会 幹事会での決議および承認事項



会議風景（全体）

## ☆2017年5月27日幹事会

- 評議員の退任  
渡邊佳昭、石川元亨、伊達和夫  
評議員の再任  
佐藤克實、田中博也、堀内淳弘  
評議員の新任  
安藤伸樹、作道誠見、佐藤忠信  
(敬称略)
- 校友会人事  
鳥谷部副会長選出について

- 石津観光クラブ支部長の就任について
- 2016年度 校友会活動実績についての説明
- 2017年度 学生自主活動支援、正課支援について募集要項説明
- 6月の南オレゴン大学学生招致と活動内容について説明
- 留学支援対象学生の面談は会長・副会長にお願いします。

## ☆2017年11月11日幹事会

- 会議前に正課支援実例発表 中谷ゼミ「米国コーネル大学訪問・実学レポート」
- 校友会年度計画進行状況と支部総会開催状況について
- 校友会からの支援実績の発表  
※別紙支援実績表をご参照下さい。
- 南オレゴン大来日活動報告
- 校友会人事 林 富美子幹事 12期



李 中国前支部長



鄭 台湾副支部長



Kim 韓国支部長

生就任

○アスリート育成支援について

在校生・卒業生アスリートを資金的に支援する件について討議

○年間コストの削減について討議。

☆2018年2月17日幹事会

会議開始前に自主活動支援事例「女子学生生活の充実」経営学科・社会学科・国際観光学科、学部の壁を越えて学生環境の改善レポート発表

○H29年度の支部総会開催状況を配布  
未開催の山梨支部、しばらく開催されていない福島・静岡支部について。

H30年度には事務局主導で開催する。

○H29年度決算見込みについて事務局より説明があった。

※龍ヶ崎新2号館竣工寄贈品について△60万円。力石台座。

○H30年度事業計画・予算を説明。承認された。

○校友会運営コスト及びアスリート育成支援について、アンケートを取り再度検討した。

○捧演習委員長が退任し、「松風」13号からは事務局で編集する。

☆2018年5月19日幹事会

○H29年度決算監査報告。永井会計監査より「適正に処理されている」旨の報告があった。

※平成29年度収支決算書をご参照ください。

○卒業式・入学式について事務局より報告があった。

○最近の入試傾向について事務局より説明があった。

○校友会運営コストの件

現在進めている大学創立50周年記念事業（H30年度で4年目）が終了する時点で結果検証をしっかり行いその後の方向性を決める。現状では繰越金も十分にあり、至急の運営方向の変更は行わない。

○アスリート支援について

在学中のアスリートについてはオリンピック種目外で実績のある学生が多い。

前例通り在校生・卒業生を含めて代表選手に選出されてから壮行金としての支援が良いと思う。賛成多数。

○H30年度正課・自主活動支援について  
※別紙支援実績資料をご参照ください。



安藤会長



鳥谷部副会長

2018年度 校友会 正課&学生自主活動支援 一覧			
正課支援関係			
申請月日	申請者	題名	承認金額
①6/22	生方謙先生	ルーティンがパフォーマンスに及ぼす影響 ※国際学会での発表	90,000
②6/22	横井のり枝先生	知的活用アイデア茨城大会出場	80,000
③7/4	山岸直基先生	社会学部卒業論文発表会賞品	※別枠で
④7/17	村田典子先生	かいご・援助相談 実習指導	30,000
⑤7/18	高橋伸子先生	都市部ワイナリーとツーリズムの可能性について	47,000
⑥7/19	向山昌利先生	スポーツを通じた震災復興の可能性	100,000
⑦7/24	龍崎孝先生	東日本震災の被災地視察「復興時に必要なものとは」	100,000
⑧7/31	西機真先生	いわき市高野小・内郷三中スポーツ交流会	60,000
⑨7/31	黒岩純先生	東京2020参画プログラム講演会	60,000
学生自主活動関係			
①6/14	興水友晴 (秋山ゼミ)	子ども未来プロジェクト 子ども食堂・駄菓子屋・映画上映	50,000
②7/26	並木しほ	しゃべり場プロジェクト	100,000
③7/26	天野愛美	テーブルマナー習得&交流推進	100,000
④7/30	横山綺実 (向山ゼミ)	スポーツを通じた国際交流バンコク	80,000
⑤7/30	及川輝也	国際交流CLIPにおけるグローバル化プロジェクト	80,000
⑥7/30	チュクロズイー太輔 (宗宮ゼミ)	スポコミ学科ロゴマーク作成	60,000
⑦7/30	土方翼 (板谷ゼミ)	大学改善に資する学生FD活動	80,000
⑧7/30	岩館竜也 (西機ゼミ)	RKU運動会(小学生対象五輪スポーツ体験) ※イワヨース	50,000
⑨7/30	山邊諒太郎 (西機ゼミ)	スポーツコミュニティ活性化	50,000
⑩7/30	小関真由 (西機ゼミ)	RKUスポーツフェスティバル	50,000
合計額			1,267,000

※校友会業務計画・予算 1,400,000

正課③については卒業発表会のある学部と調整して図書券で対応



○南オレゴン大学学生交流活動について宮本国際校流センター部長より説明があった。地域との交流について新松戸キャンパスに軸足が寄り過ぎている。

龍ヶ崎キャンパスで地域子供達との交流をより考えてほしい。

○S56年卒 13期生の還暦同期会について。協力を求めた。

○校友会グッズ 缶マグネットの作成について。

○校友会会長賞表彰について  
トライアスロン部、硬式野球部  
○遠隔地での支部総会分会開催について  
支部総会開催場所から遠い会員に対

しての意見集約  
○学生起業家連盟 伊藤鴻志さん (52期生) によるプレゼン発表

**☆2018年11月17日幹事会**

- 井上博南九州支部長ご逝去報告・黙祷
- 今年度事業計画実施状況報告。
- 正課および自主活動支援の結果報告
- 校友会人事  
福津北海道支部長 14期生 選出承認  
松葉南九州支部長 4期生 選出承認  
松本均静岡支部長代理 今回は欠席



懇親会風景

正課支援					
NO.	申請者	学部	活動内容	支援金の利用目的	支援希望額
1	村田典子	社会学部	介護現場で活躍している卒業生との交流（体験談や相談援助実習に行く際の注意事項などを話してもらう）		20,000
2	中谷秀樹	社会学部	2年ゼミ旅行（米国ニューヨーク州 コーネル大学を訪問し、セミナーを受講）、ニューヨーク日通との交流	セミナー費用	100,000
3	横井のり枝	流通情報学部	「2019 知財活用アイデア大会茨城県大会」に出場（富士通株が有する知的財産を開放し、その技術を活用した商品アイデアを大学生などから募集するもの）	試作品作成費用、各企業への訪問にかかる交通費など大会準備にかかる費用	100,000
4	龍崎孝	スポーツ健康科学部	東日本大震災の被災地視察と企画展開催（仮）	パネルなどの作成費用・送料、笹原氏（ゲスト：復元納棺師）とその紹介者2名分の交通費・宿泊費・懇親会費	100,000
5	高橋伸子	社会学部	3年高橋(伸)ゼミ「先輩のキャリアを聴こう」（観光関連企業や業務に就業している卒業生を招き、交流を図る）	発表資料作成費、軽食費、手土産代	30,000 (5,000×6グループ)

RKUスピリッツ応援 自主活動支援					
NO.	申請者	学部・学科	活動内容	支援金の利用目的	支援希望額
1	朽木美紀	社会学部	SPS「しゃべり場」プロジェクト（RKU WEEKという新入生向けオリエンテーション期間中に行われる社会学部独自のプログラム。上級生が新入生へ自らの大学生活を語り、大学生活に対する不安を取り除き、中途退学者数の減少にもつなげたい。）	ミーティング後の懇親会費用、交流イベントに要する諸費用、合宿・研修の施設代、研修での講師招待費用、チラシ作製費用など	100,000
2	興水友晴	社会学部	テーブルマナー習得及び交流促進活動（大学卒社会人に相応しいテーブルマナーを習得。参加する教職員との交流促進により参加学生は就職実情等の情報を取得する）	テーブルマナー講習会での諸費用、案内チラシ、ポスター作成費用など	100,000
3	相坂穂乃	複数学部	女子学生の学生生活の充実（昨年度得た意見を参考に引き続き大学環境の改善に向けて、教育学習支援センターの支援を得ながら活動していく。女子会（学部学科・学年の垣根を越えた、女子のコミュニティの場作りを支援）、OG講演会、カフェのメニューの考案など。）	女子学生交流会費、講師謝礼金、報告書作成・製本費(雑費)	100,000
4	山口峻	国際観光学科	大学生まちづくりコンテスト参加（全国の大学生が観光によるまちづくりプランを競い合うコンテスト。プラン作成のため課題となる地域を訪問し、現地フィールドワークを行う。大会に参加するだけでなく、本学学生にその成果を還元できるような学内(特に留学生)向けの観光プランを作成、実施する）	交通費（①山梨県②千葉県）、宿泊費（二泊4人 鹿嶋・甲府）	100,000 (希望：169,580)
5	内藤克海	経済学部	CLIPにおけるRKU学生グループ化プロジェクト（ネイティブの先生方とのフリートークや勉強法の相談、地域住民による英会話イベントや留学イベントを行う場）	環境整備、大学調査(他大学の国際交流スペースの現状・運営の調査)	100,000
6	ブミンドウク	流通情報学部	ベトナムのサンドイッチの珍味（宮武宏輔ゼミ）（青春祭でベトナムのサンドイッチの店を出店予定。その経験を生かし、新松戸キャンパスで学生にサンドイッチを朝食として、販売したい。）		100,000



# 校 友 の 広 場



## 平成30年度流通経済大学校友会 支部総会実績・予定 (2019.2.14現在)

日	曜日	事業	支部	総会場所	懇親会	時間	校友会	職員
2018年								
4月1日	日	入学式		龍ヶ崎キャンパス			安藤・作道	
4月21日	土		福島	暖や・福島駅ピボット店		15:30	鳥谷部	齊藤
5月12日	土		山梨	『語らい座・和民 甲府県民会館前店』		18:00		齊藤・折山
5月19日	土	第1回幹事会		新松戸キャンパス	いちげん	14:00		齊藤・杉山
5月21日	月			陸上競技関東インカレ応援				齊藤
5月26日	土			女子ラグビー応援				齊藤
5月27日	日		岩手	サッカー天皇杯応援			葛西(岩手支部長)	齊藤
6月9日	土		静岡	ホテルアソシア		12:00	鳥谷部	赤石・齊藤
6月16日	土		千葉	新松戸キャンパス	いちげん	13:00	作道・田中	松田・齊藤・折山・杉山
6月20日	水	南オレゴン大学		龍ヶ崎キャンパス		16:00	安藤・齊藤・杉山	
6月24日	日		中国東	米子ワシントンホテルプラザ		12:00	鳥谷部	大久保
6月30日	土		東京・埼玉合同	新松戸キャンパス	新松戸キャンパススエヒロ	14:00	安藤・齊藤	大塚
6月30日	土		近畿 (大阪、京都、兵庫、和歌山、滋賀、奈良)	韓日館 宗右衛門町店		13:00	鳥谷部	宮本(雅)
7月17日	月			留学支援面談			作道	齊藤
8月25日	土		中国西	銀座ライオン 広島駅ビル店		18:30	作道	宮本(敏)・根本・右近
9月2日	日		茨城	茨城校友会杯卓球大会			飯田(茨城支部長)	
9月8日	土		沖縄	那覇市東町 「TAISEI」		18:00	鳥谷部	齊藤
9月15日	土		中華人民共和国	大連		未定	作道	宮本部長・若山
9月22日	土		南九州	宮崎青島ランドホテル		16:30	安藤	大島
9月29日	土		中華民国	台北市内	台風24号中止	未定	安藤	大塚・山崎
9月29日	土		秋田	仙北市 「花葉館」 宿泊総会			鳥谷部	齊藤
10月6日	土		北海道	札幌東急REIホテル2F宴会場		18:00	鳥谷部	齋藤
10月13日	土		北海道道東	釧路市 四季の味わい「醍醐」		18:00	鳥谷部	折山
10月13日	土		北海道道南	函館市 「兎月」		18:00		中澤
10月20日	土		13期同期会	龍ヶ崎キャンパス		未定	對木・白鳥	齊藤
10月20日	土		北陸	ホテルグランテラス富山		17:30	作道	篠原
10月27日	土		青森	鮎処あすか新町店		18:00	鳥谷部	
10月27日	土		愛媛	国際ホテル松山		17:00	安藤	宮本(雅)
10月27日	土		岡山	平和町 喜和味		17:30	作道	杉山(年)
11月10日	土		岩手	ホテルメトロポリタン		18:00	作道	齊藤
11月10日	土		四国	ホテルパールガーデン「栗林(りつりん)」		12:00	安藤	若山
11月11日	日		栃木	メナム宇都宮東口店		16:00	鳥谷部	大塚
11月17日	土	第2回幹事会		新松戸キャンパス	いちげん	14:00		
12月1日	土		大韓民国	ソウル市内		未定	安藤	吉野
12月1日	土		群馬	新前橋ホテルラシーネ		17:30		齊藤
2019								
1月16日	水			トライアスロン部表彰			鳥谷部	齊藤・小野崎
1月22日	火			留学支援面談				齊藤・小野崎
1月30日	水			硬式野球部表彰			鳥谷部	齊藤・小野崎
2月8日	金			新旧学生会長対談				齊藤・小野崎・宮本(敏)
2月9日	土		みちのく	仙台ガーデンパレス		16:00	作道	川崎
2月16日	土	第3回幹事会		新松戸キャンパス	新松戸キャンパススエヒロ	14:00		
3月9日	土		観光クラブ	新松戸キャンパス	新松戸キャンパススエヒロ	17:00	安藤	小野崎・杉山
3月20日	水		卒業式	龍ヶ崎キャンパス				



# 校友の広場



福島



中国東



山梨



東京埼玉合同



静岡



近畿



千葉



中国西



# 校友の広場



沖縄



北海道支部



中華人民共和国



北海道道東



南九州



北海道道南



秋田



北陸



# 校友の広場



青森



四国



愛媛



栃木



岡山



韓国



岩手



群馬



# 校友の広場



みちのく



## 龍ヶ崎キャンパス

3月の龍ヶ崎キャンパスの画像です。階段教室のあったB館、体育館、学生ホールも取壊しになり1981年10月竣工の澤村記念館が一番古い建物になりました。従って17期くらいまでの卒業生が学んだ校舎は全て建替えになっています。

澤村記念館の並びには武道場が新築になります。完成予定図を掲載します。



1号館



7号館



TCM側



キャンパス広場



昔からの郵便ポスト



澤村記念館



露月池



体育館跡地



自彊館



旧第3寮



テニスコート



部室棟尚絅館



お地藏さん

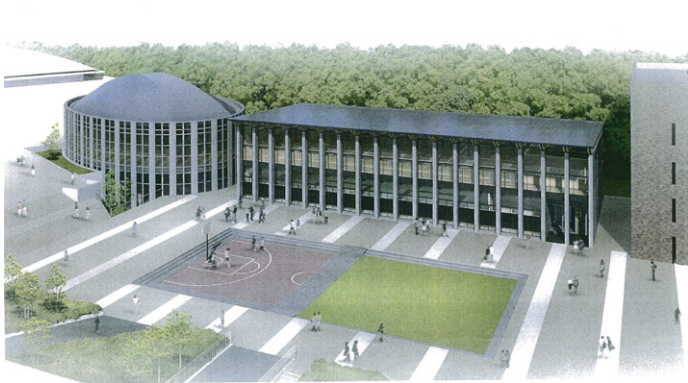


食堂跡地のジム





大学下グラウンド



新武道場（柔道場・剣道場）イメージ図



新キャンパス俯瞰図・内部イメージ図



剣道場内部イメージ図



柔道場内部イメージ図

## 編集後記

2017年6月14日発行の「松風12号」から今号まで1年8カ月も空いてしまいました。お詫び申し上げます。

今月20日に卒業式が挙行されますが、月に初めて人類が降り立った1969年の3月に母校は1期生を社会に送りだしています。校友会も会員数が41000人を超え国内はもとより世界各地で活躍されています。

今回、今年度活躍したトライアスロン部、硬式野球部のメンバーと顕彰を兼ねて食事を共にしましたが50数年の時間を経ても「流大生」の気質は変わっていないと感じました。もちろん集まる選手層、練習環境、指導者を含めて大きく変わり、その活躍するステージも飛躍的にアップしていますが。

学生会長の対談も行いました。こちらは母校を取り巻く社会情勢や生活環境が「学生会」という自治組織に大きく影響することが分かりました。学生運動でまだ社会が揺れ動いていた時代の学生と、今の現役学生の考え方は大きく違いました。「親子ほどの歳の差」よりもっと年代が離れているわけですから。それでも学生会を通してより良い大学にしていこうとする共通の意識を感じました。

1週間更新の「校友会ホームページ」に掲載しておりますので各支部総会の記事は省略し画像だけにしました。支部総会の内容についてはホームページバックナンバーをご参照ください。支部総会予定もホームページに載せてあります。ぜひ、支部総会にご出席ください。お会いできることを楽しみにしております。

T郎記